

独立混成旅團(2) = 沖繩作戰
於ケル

獨立混成第四十四旅團工兵隊史實資料

昭和二十二年三月二十五日
第三十二軍發務整理部

部隊經歷ノ概要

昭和十九年六月頃

動員完結出帆、富山丸滑難事件分動員関係月日詳細不明(残存者二十名)

昭和十九年八月十五日

西部第二二部隊ニテ動員完結同隊發

同十八日

鹿兒島高等女學校ニ於テ待期

八月十八日

鹿兒島港大信丸ニテ出帆

八月二十九日

大信丸火災、夕々大島名瀬港不時着港

九月一日

名瀬國民學校ニ宿篭

九月二日

名瀬港履門丸ニテ出帆

九月四日

名瀬港着

九月十三日

國頭伊豆頭ニ移動

十二月上旬

八重嶽ニ移動

十二月上旬

中頭屋宜ニ移動

二月上旬

島尻赤敷ニ移動

三月二十三日

甲斐戰術下令

五月四日

首里戰闘ニ参加

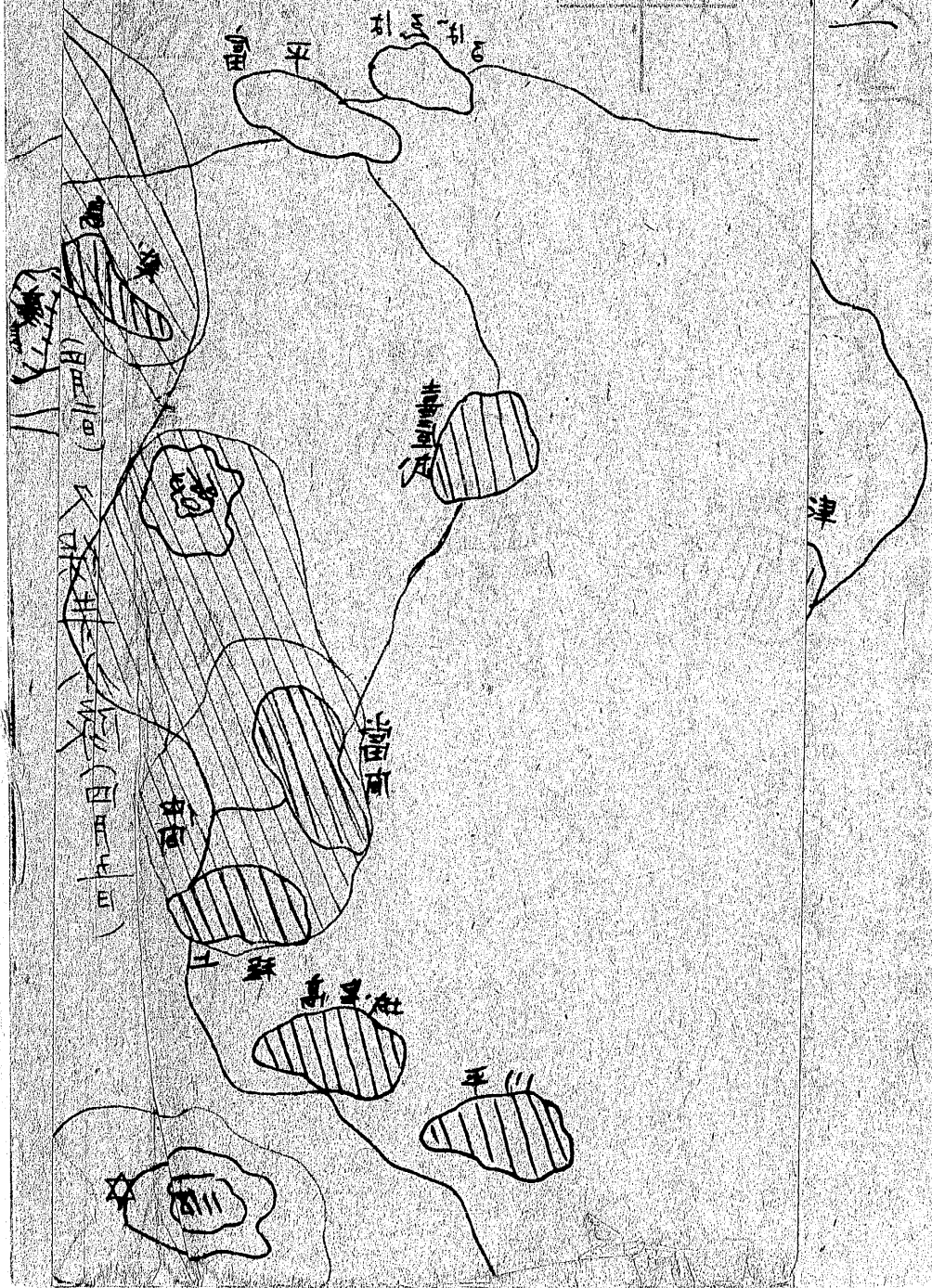
五月二十九日 島尻南部與座仲座ニ轉進戰闘ニ參加
 六月 六月 独混隊第十五聯隊ニ配屬
 六月十六日 同日頃ヨリ中隊、戰闘機能消滅
 六月二十六日 解隊

二 戰闘經過概要 其の一

三月二十三日 至 四月一日

- 一、昭和二十年三月二十三日朝突如南方上空ヨリ敵機、大編隊現出シ
 〇七〇頃ヨリ爆撃ヲ開始ス
- 二、海岸地帯及海部部落ニ指向セル軍ハ直ニ甲斐戰備下令
 中隊ハ戰闘配備ヲ完備セリ
- 三、翌二十四日淡リ南方海上ニ敵巡洋艦現出艦砲射撃ヲ開始ス
 主射向ハ淡リ、仲津、策真、カケヤ原及知念附近ナリ
- 四、三月二十四日連日守備地域内ハ艦砲及爆撃ニ依ル攻撃ヲ受ケタリ
 中隊ハ其間極力損害ヲ避ケ、晝夜兼行旅団戰斗指揮所並ニ
 陣地ハ補強構築障礙物等、設置等特ニ戰車障礙施設ニ全
 カヲ注ケリ
- 五、三月二十七日八日〇七〇頃ヨリ淡リ海面ニ陽動の偽上陸ヲ實施セリ
- 六、四月一日敵ハ本島北谷桑江附近ヨリ上陸ヲ開始セリ其ハ兵力約三四個
 師團ナルモノナシ

要圖、酒前要圖



別紙要圖其ノ一

三 戦闘經過概要其ノ二

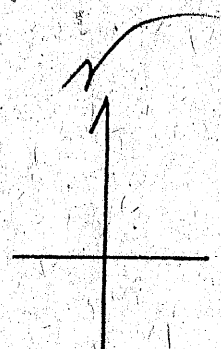
要圖別紙其ノ一 其ノ二

自四月二日
至四月三十日

1. 四月二日六上師団正面ノ戦況不利ナルタメ中隊ノ一小队(中上隊)ハ與野原附近ニ在リシ第二歩兵隊第三大隊ノ指揮下ニ入ル可ク轉進ノ命ヲ受ケ同日中上隊ハ中隊ノ隷下ヲ離レ旅団ノ指揮下ニ入可ク同夜高平ニ向ヒ轉進ス
2. 四月五日旅団命令ニ基キ一小队(久保寺小队)ハ高平ニ在リシモ旅団司令部援護ノ命ヲ受ケ中隊ノ隷下ヲ離レ旅団ノ指揮下ニ入ル可ク同夜高平ニ向ヒ轉進ス
3. 中隊ハ一々小队(土田隊)及指揮班ヲ以テ索敵ニ位置シ先ツ旅団戰鬥指揮所諸施設交通整理ニ任シタリ
4. 尚吉田隊ハ濠リ方面ヨリ上陸スル敵ニ對シ斬込隊トシテ命ヲ受

小隊轉進時配備要圖

別紙要圖其一



7. 吉田隊ハ渡リ方直ヨリ上陸スル敵ニ対シ斬之隊トテテ命ヲ受

四十八日現在配備要圖

